

# 施策評価調書

整理番号 14

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	Ⅲ 健やか安心都市
施策名	③ 患者本位の医療体制の充実

所管部局	所管部局長の氏名
医療部	梅田 純市

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市立病院改革プラン	公立病院改革ガイドライン(平成19年12月総務省策定)に基づき、平成20年度から4か年の市立病院の経営目標などを定めたもの。	平成21年3月	平成20年度～平成23年度	

2 施策目的(何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか)

No.	施策目的	関連する施策方針
1	将来にわたり市民生活を安心・安全なものとするため、保健、医療及び福祉の緊密な連携による地域包括医療を推進する。	1 地域包括医療の推進 2 医療機関の充実と連携
2	将来にわたり市民生活を安心・安全なものとするため、市内における格差のない安心の医療体制の充実と医師・看護師等の医療従事者の確保を図る。	2 医療機関の充実と連携 5 医療従事者確保対策の充実
3	将来にわたり市民生活を安心・安全なものとするため、持続可能な市立病院経営を目指し、病院経営の健全化に努める。	2 医療機関の充実と連携 3 医療における防災体制の充実 4 市立病院事業経営の健全化

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		H23年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
総合計画	救命機器の設置を進めます	除細動器(AED)の市施設設置数	0台	H16	22台	H20	109台	H23	80台	H26
	病院事業経営を健全化します	経常収支比率	新規	-	98.2%	H20	103.9%	H23	101.8%	H23
		職員給与費比率	新規	-	60.2%	H20	57.6%	H23	56.9%	H23
	医師、看護師等の安定的確保対策を進めます	医療確保奨学金等の貸付件数(医師)	新規	-	3件	H20	4件	H23	5件	H26
医療確保奨学金等の貸付件数(看護師)		新規	-	0件	H20	9件	H23	6件	H26	

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		H23年度実績値 (現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度		
個別計画	京丹後市立病院改革プラン	経常収支比率	弥栄病院	94.9%	H19	105.3%	H23	102.1%	H23
		職員給与費比率		61.8%	H19	53.9%	H23	54.7%	H23
		病床利用率		56.3%	H19	84.0%	H23	83.0%	H23
		経常収支比率	久美浜病院	95.1%	H19	102.0%	H23	101.2%	H23
		職員給与費比率		62.3%	H19	63.0%	H23	60.5%	H23
		病床利用率		85.6%	H19	92.6%	H23	90.0%	H23

4 評価結果一覧

**DO**

**CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業評価結果							施策評価結果					
			H23決算額	H24予算額(一般財源)	根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性		
1 地域包括医療の推進	保健・医療・福祉の関係団体、行政、消防組合等で組織する「地域保健医療協議会」において連携を推進している(予算を伴わない事業のため、調書には非計上)																
2 医療機関の充実と連携	1 地域医療体制整備補助金	医療政策課	25,691	23,288(23,288)	なし	含む	単費	サービス	法人	補	4	民間補完福祉増進	2	A	拡大		
	2 救急医療体制強化補助金	医療政策課	2,000	2,000(2,000)	なし	含む	単費	サービス	法人	補	4	民間補完福祉増進	2	A	拡大		
	3 休日応急診療事業	医療政策課	3,650	3,675(3,675)	なし	含む	単費	サービス	法人	委	4	民間補完福祉増進	2	S	現状維持		
	4 医療対策一般経費	医療政策課	522	1,016(1,016)	なし	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	1,2,3	A	現状維持		
3 医療における防災体制の充実	大規模災害に備え、北丹医師会と「災害時における医療救護活動に関する協定」を締結している。また、市立病院において防災マニュアルを策定するなど充実を図っている(予算を伴わない事業のため、調書には非計上)																
4 市立病院事業経営の健全化	「市立病院改革プラン」に基づき経営の健全化を推進している(評価対象外の病院事業会計で実施しているため、調書には非計上)																
5 医療従事者確保対策の充実	1 医療確保奨学金貸与事業	医療政策課	9,600	12,600(12,600)	市規定	含む	単費	サービス	他	他	2	特定サービス	2	S	現状維持		
	将来、市内医療機関に勤務する意思を有する医学生に対し、奨学金を貸与(貸与者4人)																
			計	41,463	42,579(42,579)												

5. 今後の施策展開について

**ACTION**

財源が減少していく中で、効率的・効果的に施策を推進するために、どのように施策展開を図っていくのか	No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	「市立病院改革プラン」(平成20年度～23年度)の実績を踏まえ、現行の経営水準の維持発展を図ることで、市立病院への繰入金総額の減額に努める。	

予算科目	O4衛生費	O1保健衛生費	O6医療対策費	O1地域医療対策事業															
細事業名	O1 地域医療体制整備補助金			決算書 P.170															
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実															
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率															
25,691千円		25,692千円	1千円	99.9%															
目的	市民が安心して生活できる医療環境を確保するため、民間病院、診療所が行った施設整備等に対して支援を行う。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域医療を支える病院や医療提供の困難な地域にある診療所について、施設・設備整備に係る借入金利子の一部等を対象経費として、補助金を交付した。</p> <p>交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>法人・医療機関名</th> <th>所在地</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益財団法人 丹後中央病院</td> <td>峰山町杉谷</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院</td> <td>網野町小浜</td> <td>5,691</td> </tr> <tr> <td>医療法人愛心会 宇川診療所</td> <td>丹後町久僧</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>25,691</td> </tr> </tbody> </table>				法人・医療機関名	所在地	交付額	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	10,000	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	5,691	医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	10,000	合計		25,691
	法人・医療機関名	所在地	交付額																
	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	10,000																
	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	5,691																
	医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	10,000																
合計		25,691																	
主な財源																			
評価・課題等	<p>○地方の医療機関を取り巻く環境は依然厳しいながらも、対象となる民間医療機関のサービスは維持されており、地域の医療環境が確保されている。</p> <p>○平成22年までの10年間にわたる診療報酬のマイナス改定により、医療機関の経営環境は厳しい状況であるため、引き続き支援をする必要がある。</p>																		
事業所管課	医療部／医療政策課																		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業	
細事業名	02 救急医療体制強化補助金			決算書	P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
2,000千円		2,000千円		0千円	100.0%
目的	市民が安心して生活できる救急診療体制を確保するため、民間の救急告示病院に対し、救急診療を実施するうえで必要な経費の一部について補助を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	救急告示病院において、救急医療を実施するうえで必要となる医師の待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。				
	交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)				
	法人・医療機関名		所在地	交付額	
	公益財団法人 丹後中央病院		峰山町杉谷	2,000	
※対象経費：6,061千円（補助率1/3以内）					
主な財源					
評価・課題等	<p>○市内救急医療は、市立2病院と民間1病院で支えている。現実、救急医療を市立2病院のみで支えることは、経費面、施設設備面及び人員面などから難しい。市民が安心して生活できる救急医療を確保するため、救急告示病院へ経費の一部を補助することにより、救急医療体制を維持することができた。</p> <p>○平成22年までの10年間にわたる診療報酬マイナス改定により、医療機関の経営環境は厳しい状況である。救急医療体制を確保するためには、引き続き支援をする必要がある。</p>				
事業所管課	医療部／医療政策課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業				
細事業名	03 休日応急診療事業			決算書 P.170				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率				
3,650千円		3,650千円	0千円	100.0%				
目的	市民が安心して生活できる救急診療体制を確保するため、休日における急病者の診療業務について、医療機関に委託し実施する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>休日や年末年始における急病者の診療業務について、医療機関に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施医療機関 丹後ふるさと病院、上田医院、中江医院、国保間人診療所、市立弥栄病院、市立久美浜病院</li> <li>・実施日数 70日（日曜、祝日、年末年始）</li> <li>・業務時間 午前9時から正午、午後2時から午後5時</li> <li>・延べ患者数 1,153人</li> </ul> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>委託額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日応急診療業務委託料</td> <td>3,650</td> </tr> </tbody> </table>				業務内容	委託額	休日応急診療業務委託料	3,650
	業務内容	委託額						
休日応急診療業務委託料	3,650							
主な財源								
評価・課題等	<p>○休日において応急的な診療を受けられる医療機関を確保することができた。</p> <p>○他の自治体では、休日診療所を開設しているところもあるが、本市では、費用面はもちろんのこと、医師、看護師等のスタッフ確保が非常に難しい状況である。従って、業務委託で対応することが費用対効果の面で効果が高いが、医療機関の確保が困難になってきている。</p>							
事業所管課	医療部／医療政策課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	50医療対策一般経費
細事業名	01 医療対策一般経費			決算書 P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
522千円		579千円	57千円	90.1%
目的	地域医療の充実と市立病院・国保直営診療所の運営、調整のために必要な業務を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域医療の充実と市立病院・国保直営診療所の医療体制の拡充、経営改善等のために必要な業務を行い、所要の経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市立病院改革プラン評価委員設置経費 135 千円 (全体会議4回、役員会議2回の開催。外部委員6人) 報償費(4,000円/半日)、費用弁償</li> <li>○ 市立病院経営改善専門委員設置経費 126 千円 (年間勤務21日、委員1人) 報酬(6,000円/半日)</li> <li>○ その他の経費 261 千円 医療確保を目的として、京都府立医科大学等、大学関係者や医療関係者を訪問するための職員の出張経費等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員出張のための普通旅費 182 千円</li> <li>・消耗品費(書籍、事務用品等) 53 千円</li> <li>・有料道路通行料、駐車場使用料 16 千円</li> <li>・研修等受講料 10 千円</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○市立病院改革プラン評価委員会を開催し、プランに掲げた目標の達成状況について、第三者から客観的な評価が得られた。また、市立病院経営改善専門委員からは、経営に対する助言や、薬剤調達に関するコスト削減などの指導を受け、経営改善の一助となった。</p> <p>○大学、医療関係者等を訪問し医療確保に努めた。</p>			
事業所管課	医療部/医療政策課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	04医療確保奨学金等貸与事業	
細事業名	01 医療確保奨学金貸与事業			決算書	P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
9,600千円		9,600千円		0千円	100.0%
目的	市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び確保を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する医学生に対し、奨学金を貸与した。</p> <p>○医療確保奨学金貸与事業 9,600 千円  貸与者：4人  貸与期間：平成23年4月～平成24年3月  (内訳)  ・一般医師志望者(小児科、産婦人科以外) 4人  月額200千円×12月×4人=9,600千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	○医学生への貸与であり、実際の医師確保までは年数を要する。 ○奨学金の額を近隣市町村より月額で5万円多い20万円(小児科、産婦人科は25万円)と設定しているが、当市の立地条件等を考えると、医師確保に資するためにはやむを得ないものと考えられる。				
事業所管課	医療部/医療政策課				